



学びの庭

学校教育目標

自ら学ぶ生徒 人を尊ぶ生徒 自ら鍛える生徒

多くのことに挑戦しよう

(略)さて、来月は、3年生の大イベントである修学旅行や生徒総会、学校総合体育大会、7月に入るとすぐに期末テストなど、多くの行事が予定されています。そこで、今日は、入学式・始業式にお願いをした3つの中の「多くのことに挑戦すること」について、話をします。

まず、「挑戦」の意味を確認しましょう。広辞苑では、3つの意味があります。1戦いを挑むこと 2困難なことや新しい記録に立ち向かうこと 3意欲を持って試みること です。では、この意味を踏まえて、「挑戦」の反対を考えてみてください。近くの人と学び合いをお願いします。私は、「諦め」や「無気力」、「怠け」等、マイナスな言葉しか思い浮かばなかったのですが、皆さんはどうでしたか？

ここで、挑戦の体験をいくつかやってみましょう。(挑戦体験)挑戦してみて、どんなことを感じましたか？挑戦は良いことだと大部分の皆さんはわかっているはずです。挑戦するとどんな良い点があるのでしょうか？自分の経験をもとにたくさんの良い点を近くの人に言うてみてください。(1分間の学び合い)皆さんで確認していきましょう。1自信：困難を乗り越えた経験は大きな自信につながります。2：新しい技能や知識：挑戦の過程で新たな技能が身についたり、知らなかったことを学んだりします。3成長：成功も失敗も人として大きく成長させてくれます。4自己理解：どこまでできて、何が足りないのか自分自身のことを深く理解できるようになります。5充実感：目標に向かって努力し、達成できた時の喜びは何物にも代えがたいものです。代表的なことを5つ挙げましたが、この5つ以外にもあったと思います。心理学の研究では、新しいことに挑戦し、成功体験を積み重ねることで自己肯定感が高まり、さらに意欲的に物事に取り組めるようになることがわかっています。自己肯定感、非認知能力の1つで、学力を向上させる重要な力です。また、失敗を恐れずに挑戦し続ける人は、困難な状況に直面した時により柔軟に対応できるということがわかっているそうです。これはレジリエンス(回復力)とも呼ばれる力でこれからの人生で非常に役立つ能力だそうです。

では、なぜ、挑戦しない人がいるのでしょうか？「面倒くさいから」や「疲れるから」等の理由は論外です。きっと多くの理由は、「失敗するのが恥ずかしいから」や「きっとできないから」だと思います。挑戦には、小さな挑戦と大きな挑戦があると思います。例えば、「いつもより10分長く勉強すること」は、皆さんにとって、小さな挑戦ですか、それとも大きな挑戦ですか？人によって、違うと思います。小さな挑戦は、「やってみようかなあ」、「できそうな気がする」と意欲的で、前向きな気持ちになることが多いと思います。しかし、大きな挑戦であればあるほど、「失敗したらどうしよう」、「自分には無理かも知れない」と不安になったり、諦めたりしてしまいがちです。誰でも大きな挑戦をするときは、大きな不安が出てきますので、大きな勇気が必要になってきます。だから挑戦できなくなってしまう人が多いのだと思います。私は、小さな挑戦の繰り返し、大きな挑戦になっていると考えています。小さな挑戦は、自分の力に応じて少しの勇気と少しの意欲をもって、ちょっとだけ無理して頑張ればできそうなことです。その挑戦を繰り返せば繰り返すほど、以前大きな挑戦だったと思っていたことが、小さな挑戦になっていくと信じています。

大きな挑戦は、1回目で成功することは、ほとんどなく、99%は失敗すると思います。2回挑戦して2回とも失敗する確率は、0.99の2乗ですから0.9801、これを1から引いて成功率は、1.99%です。5回繰り返すと成功率は、4.9%です。100回挑戦を繰り返すと、成功率は64%になり、挑戦459回目によりやく成功率が99%に達します。これはあくまでも計算上ですから、460回やれば、必ず成功するとは限りませんし、100回目で成功するかもしれません。ちなみに2014年に青色LED研究でノーベル物理学賞を受賞した天野浩先生は、1500回実験に失敗したそうです。

本校の校歌に「心とからだ 鍛えなむ」と「理想の道を求めなむ」という歌詞は、まさに皆さんの成長と未来への挑戦をメッセージとして表しています。体を鍛えることは、心を強くし、困難に立ち向かう勇気を与えてくれるでしょう。理想の道は、誰かが用意してくれるものではありません。自分自身の頭で考え、行動し、自らの手で切り拓いていくものです。時には迷い、高い壁にぶつかり立ち止まってしまうこともあるかもしれません。そのような時こそ諦めることなく、常に学び、一つ一つ粘り強く挑戦を繰り返してください。常に前に進もうとする行動が皆さんの理想へとつながる道を切り拓く力となります。これから予定されている行事を利用して、本校の校歌の精神を胸に秘め、多くのことに挑戦し、挑戦をし続け、自分自身を大きく成長させてください。(略)(6月全校朝会校長講話より一部省略)

第37回 寄居中学校体育祭(5月15日)

5月15日(木)、寄居中学校体育祭が開催されました。

『一蓮托生～どんな時でも笑顔 Keep!～』とのスローガンのもと、全校生徒が懸命に競技に参加し、競技はもちろん運営も生徒が担う本校の体育祭。主役である生徒一人一人の活躍に輝きがありました。また至る所で「一蓮托生」の様子を見ることができました。

縦割りでは3年生が先輩として、1・2年生を引っ張っている姿がとても印象的でした。限られた練習時間の中で、励ましやアドバイスの声を掛け合って「笑顔」あふれる団結の姿を見せてくれました。当日は平日にも関わらず、たくさんの保護者の皆さまにも御来校いただきました。ありがとうございました。



全員リレー



長縄跳び



落とすな ヤシの実



二人三脚



新種目・部活動リレー



閉会式・表彰

埼玉県学力・学習状況調査(5月9日)

全県において CBT (タブレット端末を活用した) 調査となり2年目。生徒の皆さんはこれまで培った学習の成果を十分に発揮し、取り組むことができました。この調査は生徒個々の学力の伸びを見取ることができます。質問調査では学習や生活の実態も含めて、「学びに向かう姿勢」(非認知能力の項目)等も確認することができます。結果を踏まえて、生徒一人一人に個別最適な学習方略を検討し、学力向上へとつなげて参ります。

食育の日(5月8日)

この日は給食がなく、生徒は自宅からお弁当を持参しました。朝早く起きて自力でお弁当を作ったり、保護者の方と一緒に作った生徒もいました。「食」のありがたさを改めて感じ、感謝の気持ちで会食時間を過ごしたのではないのでしょうか。

保護者の皆さま、御理解・御協力ありがとうございました。今回の「食育の日」は、11月7日(金)を予定しています。

教育実習(5月12日～5月30日:3週間)

先月、4名(技術・国語・社会・体育)の教育実習生が本校で、実習に臨みました。近い将来に就こうとする教職の実践的な学習の場です。担当教職員の指導のもと、試行錯誤しながら一生懸命授業を展開していました。生徒の皆さんも授業づくりに協力しました。「子供たちのため」教職への大いなる希望を抱いて最後まで頑張る姿が印象的でした。

学校総合体育大会に向けて・・・

右記の行事予定の通り、6月に3年生運動部にとって最後の大会となる学校総合体育大会が行われます。試合日・試合開始時刻・会場等は各顧問に御確認ください。現在、本校の部活動は3年生を中心に、この大会に向け最終調整をしています。保護者の皆さまにおかれましても、生徒(選手)が十分に力を発揮できるよう、温かな励ましのお言葉をお願いします。また、体調管理・けがが防止につきましても、御配慮ください。

6月行事予定

日	曜日	行 事
1	日	
2	月	修学旅行①
3	火	修学旅行②
4	水	修学旅行③
5	木	3年臨時休業
6	金	通信陸上県大会(熊谷)
7	土	通信陸上県大会(熊谷) 第1回より・E土曜塾
8	日	
9	月	職員会議(6月)
10	火	
11	水	
12	木	生徒会の日
13	金	生徒総会
14	土	第2回より・E土曜塾
15	日	
16	月	学年会
17	火	生徒朝会(保健委員会)
18	水	大会前5時間・学総事前指導
19	木	学校総合体育大会地区予選会
20	金	学校総合体育大会地区予選会
21	土	学校総合体育大会地区予選会
22	日	学校総合体育大会地区予選会(予備日)
23	月	安全点検日
24	火	3校合同あいさつ・花植え運動 (会場:寄居城北高)
25	水	学総陸上
26	木	学総陸上(予備日)集会所学習 部活中止
27	金	学総陸上(予備日)・部活中止 集会所学習
28	土	学総代表決定戦・部活中止 第3回より・E土曜塾
29	日	学総代表決定戦・部活中止
30	月	部活中止 全校朝会 校内研修
7月		
1	火	部活中止 学校運営協議会(会場:寄居中)
2	水	期末テスト(部活中止)
3	木	期末テスト(部活中止)
4	金	期末テスト(部活中止) 漢字検定
5	土	
6	日	
7	月	職員会議(7月) 3年生1学期実力テスト

